

『多濃武の雁』

たのむかり

抄読 その2

9

30±

13:30-15:30



↑電子申請はこちらから

受付期間

9月5日(火)9:30

~15日(金)19:00

市民
優先

入場
無料

会場…川越市立中央図書館 視聴覚ホール
講師…山野清一郎先生(埼玉大学名誉教授)

講師からのご案内

昨年に続いて太陽寺盛胤の『多濃武の雁』の抄読並びに解説を行います。

松平伊豆守家や柳沢吉保家の跡を引き継いで川越に入封した秋元家は、他家には見られない領地に対する関心が強かったのか、藩の手で地誌を2つ遺しました。『川越素麺』と『多濃武の雁』です。どうして2種類の地誌を編んだのかといえば、これは2段階の手続きを踏んだのだと思います。

まず板倉善左衛門良矩が自らの足で市中を歩き回り取材して遺したのが『川越素麺』であり、それを文献などに照らし合わせ、太陽寺盛胤が整備完成させたのが『多濃武の雁』であったのだと考えてよいと思います。ですから『多濃武の雁』は、ある意味で秋元家にとっては誇り得る地誌として呈示したものとみなせるのです。

先回にも言及しましたが、それにもかかわらず、堅さを含む記述のためか、川越市民の愛読する書とはならず、いまだに親しまれていないのは惜しいことです。今回は面白い箇所も出てくるはずですので、期待して御来聴ください。

定員…100名予定(15歳以上)

電子申請、電話、FAXまたは中央図書館2階カウンターで受付。
申込数が定員を上回った場合、抽選とさせていただきます。

参加者には9月20日(水)~22日(金)までに、電子メール、電話、FAXで連絡いたします。抽選となった場合、9月22日(金)までに連絡がつかない方は当選無効とし、次点の人を繰上げ当選とします。

※手話通訳あり。申込み時にお知らせください。

※なるべく公共交通機関をご利用ください。

川越市立中央図書館 資料担当

〒350-0054 川越市三久保町2-9

TEL:049-222-0559

FAX:049-224-7822